

《日高特別支援学校の活性化・特色化方針》

種別	肢体不自由	学部・学科	小学部・中学部 高等部普通科・訪問教育部	R7.5.1 児童・生徒数	(男)66 (女)61	計127
アクセス	西武新宿線狭山市駅より智光山公園行きバス25分智光山公園バス停下車徒歩5分					
＜教育課程等＞						
・児童生徒の実態に応じた教育課程がある。 - 類型Ⅰ：小学校、中学校、高等学校当該学年の指導内容、指導目標に準ずる教育課程 - 類型Ⅱ：授業の遅れ、学習進度を考慮した、前学年対応の教育課程 - 類型Ⅲ：知的障害の特別支援学校の学習を参考にした教育課程 - 類型Ⅳ：自立活動の目標、指導の手立てが主となる教育課程 ・個に応じた学習環境が継続されるよう、教育課程委員会が中心となって、それぞれの学部における学習内容について共通理解を図り、系統性のある学習が展開できるよう取り組んでいる。 ・自立活動は、豊かな生活の実現を目指した学びの場であり、教師との良好な関係性を土台としながら、健康の保持、心理的な安定、身体の動き、環境（重力・空気・寒暖・食べ物・人など）とのやりとりなどに取り組んでいる。						
＜学校行事・部活動＞						
・社会体験学習・校外宿泊学習・修学旅行等の校外行事を通して、公共交通機関や施設を利用し、車椅子で活動する社会経験を積み重ねている。 ・「産業現場等における実習」は高等部第2・3学年、中学部第3学年を対象に実施、進路講演会では卒業生の体験談などを聴き、卒業後の進路や生活設計を考える学習をしている。 ・積極的に防災教育に取り組み、年間を通じて避難訓練、ショート訓練を実施し、「自分の身を守る」防災意識を身に付けている。 ・運動部、文化部の部活動に、年間6回、不定期水曜日15:00～15:35、中・高等部生徒が参加している。 ・特体連スポーツ大会、障害者スポーツ大会（陸上、ローリングバレー・ボッチャなど）の参加に向けた練習を行っている。						
＜家庭・地域との連携＞						
・交流及び共同学習：高萩小学校、坂戸ろう学園 ・小中学校における支援籍学習の実施：7市2町21校24名（令和6年度） ・地域連携：コミュニティスクール、日高市社会福祉協議会、学校支援ボランティア、地域諸機関、本校PTAと共同実施の花いっぱい運動など。						
＜進路＞						
・生活介護事業所を利用するが多いが、就労系事業所など多岐に渡っている。令和6年度は、高等部の卒業生14名中、大学進学1名、障害者支援施設等9名、医療機関施設4名の進路実績だった。 ・小学部・中学部の児童生徒は、ほとんどが本校中学部・高等部へ進学している。 ・小学部から高等部の全家庭にキャリア学習ノートを配布し、自己選択や自己決定、気持ちを伝える力、主体的に自己表現できる進路指導を推進している。						



学校教育目標

いのち輝く
ゆたかに学ぶ
ともに未来を

児童生徒の生活目標

明るく (明朗さ)
正しく (公平さ)
たくましく (力強さ)

目指す学校像

「児童生徒一人一人のよさや可能性を伸ばし、保護者や地域の信頼に応える学校」

本校の特色

- ◇本校の教育方針 児童生徒の希望、保護者の願いをしっかりと受け止め、「将来像」の実現に向けた教育活動を展開し、一人一人のよさや、可能性を伸ばしていく
- ◇教育内容の特色 実態に応じた教育課程、防災教育の推進、文化的活動・生涯スポーツの推進
- ◇地域との連携 学校運営協議会を活用し、コミュニティとの連携強化や地域を取り込んだ取組、地域のボランティアサークルとの連携、HP 等を利用した地域への積極的な情報発信

人と関わり 仲間と共に活動

小・中学部 支援籍学習

- ・学期1回程度、年3回
- ・小学部・中学部希望者
- ・対面及びオンラインで実施

文化的・体育的活動

- ・ひだか祭
- ・ハートフルコンサート

食農育学習

- ・野菜の栽培・収穫
- ・調理学習

中・高等部 部活動

- ・年6回不定期水曜日に活動
- ・運動部、文化部

中・高等部の 各種挑戦

検定・コンテスト

障害者スポーツ大会

- ・漢字、英語、パソコン検定
- ・写真、ポスター、絵の出版
- ・俳句、標語、人権メッセージの応募
- ・陸上・バスケットボール
- ・ローリングバレーボール
- ・ポッチャ大会への参加

小学部 教育目標

- ・生活のリズムを整え、自分なりの見通しを持って健康的な学校生活を送る児童の育成
- ・学習活動を通して、周囲に興味関心を持ち、自ら関わろうとする児童の育成
- ・教員や友だちとの関わりから、自分の思いを伝えようとするとともに、決められた役割に気づき自ら取り組もうとする児童の育成

中学部 教育目標

- ・基本的生活習慣の定着を図り、健康で安定した気持ちで学校生活を送ることができる生徒の育成
- ・学習への興味関心をさらに広げ、知る喜びに気づき、楽しく学ぶことができる生徒の育成
- ・他者と協力し合いながら社会生活に必要な知識・技能を学び、決められた役割をやり通すことができる生徒の育成

高等部 教育目標

- ・基本的生活習慣を調整し、生涯にわたって健康な身体作りに励む生徒の育成
- ・基礎的な学力を生活や仕事にいかすとともに、様々な文化に親しむことができる生徒の育成
- ・集団生活の中で自己の役割を自覚し、協力して課題を達成できる生徒の育成

訪問教育部 教育目標

- ・生活リズムを整え、健康的な日常生活を送ることができる児童生徒の育成
- ・生活年齢に応じた学習活動を通して興味関心を広げ、豊かに生活することができる児童生徒の育成
- ・人との共感的な関わりの中で他者との関係性を育て、自分の感情や意思を表出することができる児童生徒の育成

健康・生活を支える専門スタッフ

- ・養護教諭・看護教員・医ケア Co.
- ・特別支援教育コーディネーター
- ・自立活動専任・ICT 専任

将来の自立に 向けた体験

社会体験学習

- ・小学部 買い物・生活体験学習
工場見学
- ・中学部 買い物・外食・伝統工芸・電車利用体験
- ・高等部 調べ学習・買い物学習
外食・余暇・IT 機器体験
公共施設見学
公共交通機関利用

校外宿泊学習・修学旅行

- ・1泊2日、2泊3日の宿泊体験
- ・校外宿泊学習
小5、中2、高1
- ・修学旅行
小6：ディズニーランド
中3：横浜
高2：東京・千葉方面

自己理解から 始める進路指導

社会生活に向けての学習

- ・高等部校内実習年1回1週間程度
- ・就職支援アドバイザーによる校内実習指導
- ・事業所利用者との合同作業学習
- ・コミュニケーションスキル学習
- ・卒業生講話
- ・キャリア学習ノートの活用

中3から始まる現場実習

- ・中3 長期休業に1～2日体験
進路への意識付け
- ・高2・3 3～5日年2回程度
企業就労、福祉就労
実習後、進路決定